

製品保証書

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。本保証書は、本書記載の内容にて無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの年月日(納品日)から起算し、保証期間中に取扱説明書やラベル、その他注意書きに従った正常な使用状態で故障などの不具合が生じた場合は、本書、および、取扱説明書の「保証・アフターサービス」の記載内容に基づき、当社にて無償修理をさせていただきます。また、製品、保証書、取扱説明書を必ずご用意のうえ、弊社サポートセンター、またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

型 式	SJ8 (出張修理)		
製造番号			
お 客 様	お名前(フリガナ)		様
	ご住所 〒		
	お電話		
保証期間	お買い上げ日	年 月 日から	本体 1 年 / 冷媒循環回路 5 年
ご販売店	印		

ご購入を証明する書類(ご購入時に販売店から発行されるシースト、保証書、納品書)などと一緒に保管ください。
ご購入を証明する書類がない場合は、すべて有償修理にて対応させていただきます。

さくら製作所株式会社 〒141-0031 東京都品川区西五反田7丁目22番17号
SAKURA WORKS Inc. TEL.03-6431-8611 FAX.03-6431-8628 【平日 10:00~17:00 土日祝、および当社休業時を除く】

お客様へのお願い

1. 所定の事項が記入されていない場合、保証書は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。
 2. 保証書に販売店の印が無い場合、ご購入を証明する書類(ご購入時に販売店から発行されるシースト、保証書、納品書)などと一緒に保管ください。
 3. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管ください。
 4. 製造番号は製品ラベルに記載されています。
- ◆保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報、保証期間内のサービス、および、その後のアフターサービスのために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

出張修理について

保証期間中でも離島または離島に準ずる遠隔地へのお出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費も申し受けます。詳細につきましては、修理相談窓口にお問い合わせください。

出張料について

修理のお見積り取得後、または何らかの症状での確認等で出張修理、あるいは点検をご依頼され、修理に至らなかった場合もしくは、製品が正常範囲内であった場合でも、見積料金及び、出張料金は保証期間に関わらず申し受けます。

保証規定

保証規定は、保証書および、本取扱説明書の保証・アフターサービスに記載されている内容に準拠いたします。いづれにも記載されていない内容は保証対象外となります。

また、本書は、取扱説明書などの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合、保証規定の記載内容にそって無料修理をさせていただきます。保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、本書はワインの補償など、製品故障以外の一切の責を保証するものではありません。また、離島および、これに準ずる遠隔地へのお出張修理は、出張に要する実費をいただきます。

保証期間内でも次のような場合は、有償修理または有償点検となります。

1. 本書、または販売店購入時に受領される保証書がない場合。
2. 製品のご購入を証明するシーストなどの証明書がなく、本書にも所定事項の記載がない場合。
3. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または、字句を書き換えられた、または記載内容の事実と異なる場合。
4. 所有者の変更が当社の製品番号履歴等のデータより判明した場合。(新品や中古品購入など)
5. 櫃、鍵、バッキン、LED、脚など。(ただし、材質上、製造上の瑕疵は含みません)
6. 表面的な損傷の場合。(傷、へこみ、汚れなど)
7. 一般家庭で使用された場合の故障または損傷。
8. 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
9. お買い上げ後の転倒や外部からの衝撃などによる故障、破損。
10. 火災・公害・異常電圧・定格外の使用電源(電圧、周波数)、および、地震・雷・風水害・ガス害(硫化ガスなど)・塩害その他天災地変など、外部に原がある故障・損傷。(例えば、落雷後の制御異常など)
11. 車輛・船舶に搭載された場合に生じる故障・損傷。
12. お客様にて準備された温度計と庫内表示温度に差があり、点検の結果、通常動作と判断された場合。その他、異常冷却との申告の結果、通常冷却と判断された場合。
13. 消耗部品(バッキン、LEDなど)の交換及び仕様変更。(外部指定部品の取付、改造など)
14. 本書に記載されていない内容に関するもの。

- 故障の状況やその他事情により、修理に代えて製品を交換する場合があります。
- 修理に際しては、再生部品や代替部品を使用する場合があります。
- 修理時に交換した部品は弊社が任意に回収の上、適切に処理、処分させていただきます。

本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

本書の再発行はいたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

内容物やその他製品以外の補償はいたしません。

さくら製作所株式会社
SAKURA WORKS Inc.

〒141-0031 東京都品川区西五反田7丁目22番17号
TEL.03-6431-8611 FAX.03-6431-8628 【平日 10:00~17:00 土日祝、および当社休業時を除く】

2019.4.A

さくら製作所 / SAKURA WORKS 取扱説明書(保証書付)

業務用 日本酒 & ワインセラー

品 番 SJ8(一升瓶60本収納・ワイン126本収納)



開梱時、使用・設置前に必ず本書をすべてお読みください。

本製品は、重厚なガラス扉により、前面に荷重がかかりやすい製品です。製品の設置時は必ず「設置・据え付け方法」に記載の内容を遵守の上、設置してください。

ご使用に際して発生した不具合などがあった場合には速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。製品の保証書および、保証規定に基づいて対応することをお約束いたします。必ず保証規定をよくお読みになり、ご理解いただいた上でご使用ください。



SJ8

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しいご使用をお願いします。
- 特に「安全上のご注意」や「保証規定」は、必ずお読みいただいてからご使用をお願いします。
- 「保証書」は、販売店から発行される「お買い上げ日・販売店名」などが確かめられる書類と必ず一緒に保管ください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- 本製品には別途保証規定を記載しています。保証規定をよくお読みの上、正しくお使いください。保証期間内であっても、保証規定外の項目はすべて有償での修理対応となります。
- 型式が異なっても、使いたが同じものは一つの画像、イラストで説明しています。
- イラストはこの取扱説明書のために加工しています。実際の製品は異なる場合があります。

国内 AC100V専用

※海外での使用はできません。故障の原因となります。

※海外でのアフターサービスもできません。

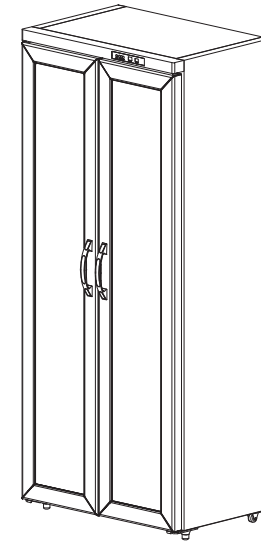
FOR USE IN JAPAN ONLY

This appliance is designed for used in Japan only and cannot be used in any other country.

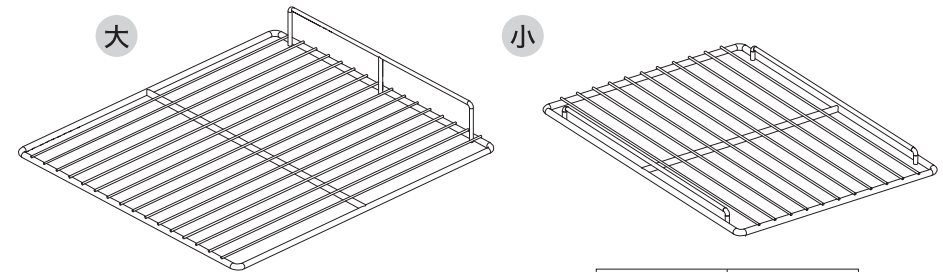
No maintenance servicing in available outside of Japan.

パッケージ内容

本体 1台



棚



棚(大)	棚(小)
14枚	7枚

取扱説明書 兼 保証書

保証書の再発行は致しませんので、本書を大切に保管ください。
取扱説明書は当社ホームページよりダウンロードも可能です。

目次	ページ
パッケージ内容	2
扉の取り扱いについて	3
安全上の注意	5
設置・据え付け方法	7
◆設置・ご使用前に	8
◆移動・運搬するとき	9
◆庫内水受皿／排水皿に溜まった水を抜く	10
各部の名称	11
使いかた	12
◆保存温度参考表	12
◆お勧めのワイン熟成方法	13
◆温度表示、エラー表示の説明	13
◆温度設定を変える／ライトをつける(消す)	14
◆ドアヒータースイッチ	14
◆主なワインボトルの形状	15
◆棚の位置	16
◆棚サポートの取り付け方	16
◆棚の方向	16
◆各種瓶の保管方法	17
お手入れについて	19
こんなときには	20
使いかたのコツ	21
よくある症状	23
故障かな?と思ったら	26
保証規定・アフターサービスについて	28
仕様一覧	31
サポートセンターのご案内	33
製品保証書	裏表紙

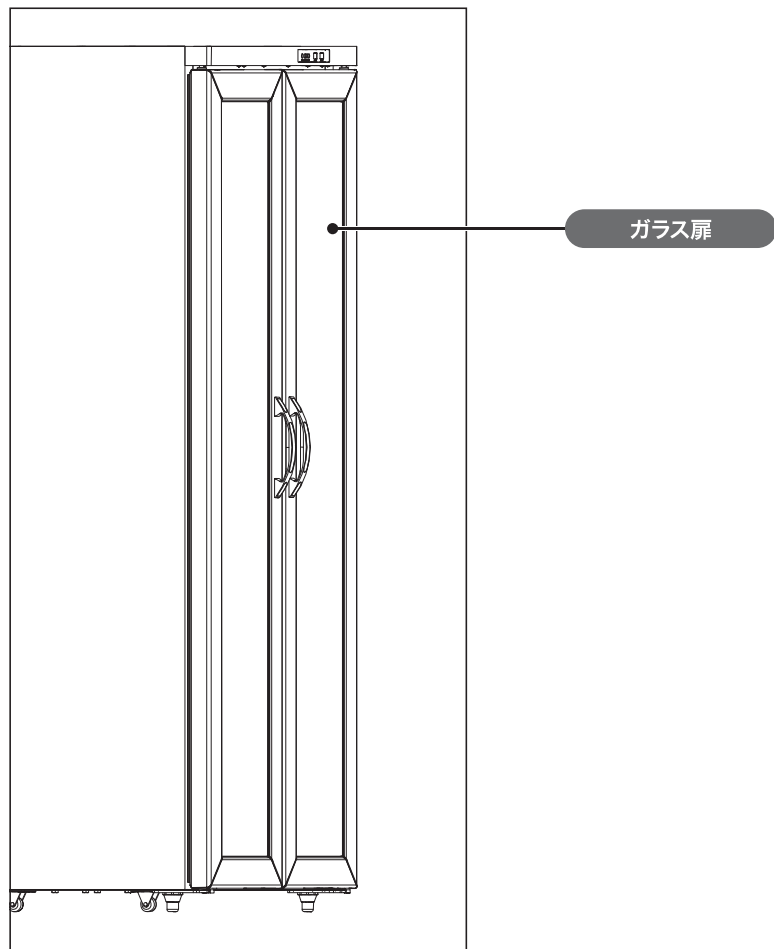
扉の取り扱いについて

構造と注意

ドアは観音開きです。ドア開閉方向の左右反転はできません。

ドア開閉時のご注意

- 取手の反対側に手を掛けて開けない。
- 確実に閉める。確実に閉まっていないと冷却不良・水漏れ、霜付きなどの発生原因となります。
- 本体の扉構造部に(ヒンジ)にものを詰めたり、傷つけたりしない。
- 扉に荷重を掛けない。寄りかからない。
- 本体のドア構造部(ヒンジ)に注油しない。



ガラス扉の取り扱いに関するお願い

ガラス扉には**瓶や家電製品のような「硬いもの」**を当てないよう細心のご注意をお願いします。

傷や破損がある場合には、直ちに使用を中止し、弊社サポートセンターまでご連絡ください。市販のクッション材や飛散防止フィルムなどでガラス面を保護してお使いいただくことも可能です。

長時間の「扉の開放」はアラームでお知らせします。

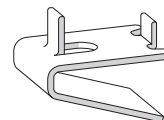
数分間「扉を開いたまま」にし続けると、表示部に「dr」と表示され、アラームでお知らせします。

扉開放アラームが発動している間は、圧縮機とファンモーターなどの冷却運転の機能を全て停止します。

扉が開いたまま冷却をし続けると、水漏れの原因になるためです。

棚サポートが取り付けられているか確認してください。

棚サポート



棚サポートをお客様に取り付けいただくことは、お手間をおかけすることですので、弊社であらかじめ棚をセットした上で、出荷しています。まれに、輸送などの揺れにより、棚サポートが脱落してしまっている場合がございます。製品をお使いになる前に棚サポートがしっかり取り付けられていることをご確認ください。

一部脱落があった場合には、16ページをご確認のうえ、棚サポートを所定の位置にセットしてください。

安全上の注意

ご使用前によくお読みになって正しくお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

内容は、当社ホームページからもご確認いただけるようになっています。

お使いになる人が、その他の人への危害、財産の損害、破損などを未然に防止するために、使用に際して必ずお守りいただかなくてはならないことを説明しています。表示内容を無視して誤った使いかたをした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 ⚠	注意 ⚠	本文中の記号の意味
誤った取扱をしたときに人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容	誤った取扱をしたときに人が傷害、および物的損害の発生が想定される内容	 「警告」や「注意」を促す事項を表します。  禁止を表します。  「必ずしてほしい行為」を表します。

大分類	箇所	項目	発生症状	マーク	内容					
警告	電源プラグ・コード	禁止	発火・火災・感電・漏電のおそれ	⊘	電源プラグを(本体や背面などで)押し付けけない。					
					電源プラグ・コードを破損するようなことをしない。東ねる、傷つける、加工する、高温部分に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重量物を載せるようなことはしない。					
					電源プラグを引っ張って抜かない。					
					電源コードやプラグが損傷したり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。					
					濡れた手で電源プラグや電源コードを触らない。					
					合計1500ワット以上で使用しない。					
					たこ足配線、延長配線をしてない。					
					交流100V専用・定格15A以上のコンセントを単独で使用する。					
					電源プラグの見える場所、手の届く場所に設置する。					
					電源プラグコードが下向きになるように差し込む。					
警告	電源プラグ・コード	遵守	発火・火災・感電・漏電のおそれ	⚠	電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。					
					電源プラグのホコリなどは定期的に取り除く。					
					電源プラグを抜くときは、コードではなく、プラグを持って抜く。					
					アースを取り付ける。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話アース線には接続できません。 ※アースの取付は販売店にご相談ください。					
					長期間使用しない場合、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。					
					異臭など焦げ臭いときは、電源プラグを抜く。					
					警告	庫内に入れてはいけないもの	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⊘	医薬品・学術試料は保存しない。
										開栓・抜栓したワインを保存しない。
										日本酒・焼酎・ウイスキー・瓶、缶、ペットボトル飲料、その他食品などで容器が密閉されていないものは保存しない。
										生鮮食品は保存しない。
生き物は保存しない。										
脱臭器・加湿器、その他電気製品を入れない。										
揮発性、引火性のあるものを入れない。										
密閉された容器に入っている飲料に限り保存することができます。(設定温度によって、保存できる飲料が異なりますので、「使いかた」12ページをよくお読みください。)										
警告	庫内に保存するもの	遵守	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⚠						ドア周辺や庫内にモノが挟まっていないか確認する。
										棚や中仕切り板を強く引き出したり、上下に圧力を掛けない。
					棚と中仕切り板に所定の耐荷重以上のモノを置かない。					
					棚と中仕切り板以外の部分に直接モノを置かない。					
					ワインの上にワインボトルを直接載せない。					
					棚と中仕切り板に乗らないものを置かない。					
					棚と中仕切り板に強い衝撃を加えない。					
					モノを置いたまま棚を引き出したり、動かしたりしない。					
					庫内に加水する際は、必ず内容物をすべて出してから行う。					
					製品内箱からボトルやモノをはみ出させない。					

大分類	箇所	項目	発生症状	マーク	内容										
注意	その他庫内	禁止	故障・破損・ケガのおそれ	⊘	高湿度状態になっている時や表面に水滴がついているボトルなどは、保管、取り出しの際、滑りによる落下を防ぐため素手で触らない。										
警告	お手入れのとき	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⚠	お手入れの際に棚にも置いておかない。										
					掃除、点検の際は、必ず電源プラグを抜く。										
警告	本体	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⊘	本体や庫内の所定の位置(水受皿)以外に水や液体をかけない。										
					製品の上に重いもの・液体入りの容器を置かない。										
					本体下側に足や指などを挟まない。										
					製品に体をぶつけない。										
					製品の上に重いもの・液体入りの容器を置かない。後方本体・後方下部などの機械部分に触れない。										
					製品下部に手や足を入れない。(レベル調整が必要な際は、8ページ「設置・据え付け方法」をあらかじめよくお読みください。)										
					可燃性ガス漏れ時は、本体を触らない。										
					可燃性スプレーは近くで使わない。										
					警告	ガラス扉	禁止	故障・破損・ケガなどのおそれ	⊘	扉にぶら下がったり、寄りかからない、乗ったりしない。					
										幼児に扉を開かせない。					
扉を強く開閉しない。															
ガラス扉に強い衝撃を与えない。 ※ガラスが割れたり、欠けた場合は、ガラスに触れず、すぐに販売店にご相談ください。															
ドアを閉める際、内容物がガラス扉に接触しない。															
ガラス扉の下に足、手、指を入れない。															
他の人が冷蔵庫に触れているときは、扉を開閉しない。															
開いているドアの下側やヒンジ側に手や指を入れない。															
遵守	⚠	ガラス扉を開ける際は近くに人やものがないか確認する。													
警告	設置・移動するとき	遵守	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⚠						製品の周囲は隙間を開けて据え付ける。(7ページ「設置・据え付け方法」参照)					
					製品質量および、内容物の質量に十分耐えうる場所に設置する。										
					据え付けは、お買い上げの販売店、または専門業者に依頼する。										
					ご使用前に、必ず7~8ページ「設置・据え付け方法」のチェック項目を確認する。										
					絨毯、畳、塩化ビニル床材、フローリング床などには丈夫な板やマットなどを敷く。										
					本体の転倒防止処理を行う。(7・8ページ参照)										
					移動、運搬時には庫内の水を完全に排水させてふき取る。(10ページ参照)										
					運搬時は下部前脚と背面上部を持って運搬する。										
					傷つきやすい床での移動にはあらかじめ毛布などを敷き、傷防止処理を行う。										
					ドアの開閉がスムーズにできるように処置して運ぶ。										
警告	設置・移動するとき	遵守	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⚠	ドアのヒンジ部分に荷重、負荷がかからないようにして運搬する。										
					丈夫で水平な硬い床面に調節脚でしっかり固定する。										
					風通しの良いところに設置する。										
					警告	庫内に保存するもの	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⊘	ガスコンロなど熱気が周囲にある場所、直射日光の当たる場所、テレビ、ラジオ、電話機、インターホン、電子レンジ、オープン調理器などに近い場所には設置しない。					
										湿気・水気が多い場所に設置する場合はアース線や漏電遮断タップなどを取り付ける。					
										屋外や軒下など、水がかかるには据え付けけない。					
										警告	もしものときは	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⊘	分解・修理・改造は絶対にしない。また冷媒回路(開口・側面・天面・背面の配管等)を傷つけない、ネジ等を打たない。
															背面のカバーは絶対に開けない。
															部品が破損した状態のまま使用しない。
															冷媒回路(開口・側面・天面・背面の配管等)を傷つけたときは、使用を中止し、本体に触れず、窓を開けて換気する。
⚠	震災や水害に遭ったときは、電源を入れる前に販売店に相談する。														
警告	廃棄・リサイクルのとき	遵守	故障・破損・ケガなどのおそれ	⚠											リサイクルするときには、扉パッキングをはずす。
															廃棄時には、販売店や市町村に引き渡す。
警告	異常・故障時には	遵守	故障・破損・ケガなどのおそれ	⚠	直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、すぐに当社カスタマーサポートまたは、販売店へ連絡する。 【故障・異常例】 電源コードや電源プラグが発熱している。ビリビリと電気を感ずる。 電源コードや電源プラグに破損がある。ガタガタなどの異音がある。 焦げ臭いにおいがする。										

設置・据え付け方法

ご使用前に必ずチェックしてください。

- 停電など通電ができない、冷却運転ができない場合に備えて、製品の棚1段あたり、あたり350～500g程度の保冷剤を準備してください。あらかじめ、保冷剤を凍らせておくことで、短期的な庫内温度の維持に役立ちます。

お願い

- 製品を横向きにししないでください。(故障の原因)
- 輸送によりコンプレッサーの冷媒が安定していませんので、**据え付け後30分**は電源を入れしないでください。
- 電源プラグを抜いた場合は、**7分以上待って**から電源プラグを差し込んでください。(すぐに差し込むと、圧縮機に負荷がかかり故障の原因となります。)
- ベットのし尿がかからないよう十分ご注意ください。
- 温泉成分が空気中に含まれる場合、そのまま使用すると冷媒配管が腐食することがあります。別途、防錆処理が必要な場合がありますので、お買い上げの販売店へご相談ください。

Check

□ パッケージ内容は確認しましたか？

□ 地震に備えて転倒しないようにされていますか？

市販の転倒防止ベルトを通して壁と固定してください。詳細は販売店にご相談ください。

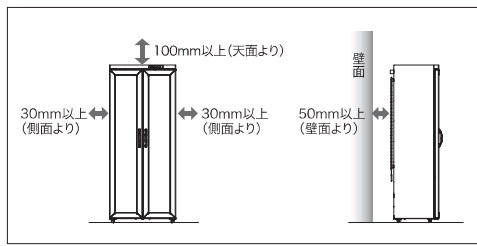
□ シールをはがしていませんか？

はがすと冷却性能が悪くなります。はがした場合は、布製ガムテープなどで穴を塞いでください。

□ 放熱スペースやドアの開閉スペースは十分確保できていますか？

放熱スペース

高さ100mm以上。左右それぞれ30mm以上。壁面50mm以上。



□ 外観に不具合やガタツキはありませんか？

設置完了後は保証の対象外となります。

アース線接続用ネジ

アース接続できないところ
 ◆ 水道管(感電のおそれ)
 ◆ ガス管(爆発のおそれ)
 ◆ 電話線や避雷針(落雷時に危険) 法令で禁止されています。

電源投入前に必ず確認してください。

□ 電源まわりに不備などはありますか？

電源コンセント AC100V 15A以上(単独使用)

くわしくは『安全上の注意』(5ページ)の「電源プラグ・コード」の項目をよくお読みください。

漏電遮断機

業務用などで水回り近くご使用する場合、漏電保護プラグの取付が義務付けられています。

設置・ご使用前に

設置前に製品外観、庫内、付属品の有無などを必ずご確認ください。

製品の設置前に、必ず調節脚が製品底面に4本取り付けられていることを確認した後、設置してください。万が一、調節脚がない場合は設置せず、直ちに当社サポートセンター、または販売店へご連絡ください。

庫内を清掃してください。(19ページ参照)

- 梱包材の細かい粒子などが製品に付着している場合があります。湿らせた柔らかい布などでふいたあと、水分などが残っていたら乾拭きして仕上げてください。
- 収納棚も拭いたあと、水分などが残っていたら乾拭きして仕上げてください。
- 使い始めは、プラスチックからにおいがする場合があります。においがこもらないように部屋の風通しをよくしてください。においは通電を続けていけば自然に消えていきます。

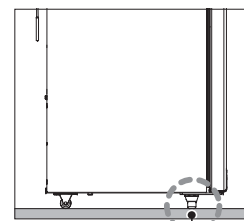
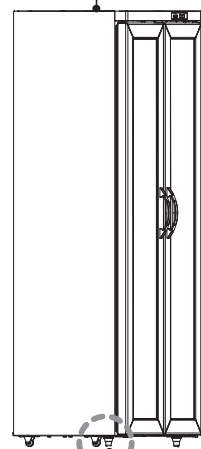
においが気になる場合は、「よくある症状」(25ページ)の「においについて」をご確認ください。

□ 天面にものを置いていませんか？

放熱効率の妨げ、もの落下による破損、ケガなどのおそれがあります。

□ 次のような場所に設置されていませんか？

- ◆ 熱気が周囲にある場所
- ◆ 直射日光が当たる場所
- ◆ テレビ、ラジオ、電話機、インターホン、電子レンジ、オープン、などに近い場所
- ◆ 風通しの悪い場所
- ◆ 不安定で傾きやすい場所
- ◆ 湿気が多い場所
- ◆ 電源プラグに手が届かない場所
- ◆ 屋外・軒下、倉庫など



扉は本体天面に対して水平でない場合があります。扉の上辺が本体天面に対して、左右いずれかに10mm以上の下がり、または上がりがあれば、正しい設置状況の確認の上、設置してください。

扉の上辺の左右いずれかが、本体の天面に対して、10mm程度下がっている(扉下がり)または、上がっている(扉上がり)ことがあるままご使用になると、本体歪みの原因になります。これらの症状は、一度発生してしまうと修理不能となる場合がありますので、十分ご注意ください。なお、この場合は保証対象外となります。

設置場所について

調整脚
左へ回すと前上がりになります。

前脚を後脚より5mm程度高くする

- 製品が左右に傾いていませんか？
- 扉が天面に対して10mm以上大きく下がっていませんか？
- 床の耐荷重は問題ありませんか？
- 床面の保護などは実施されましたか？

- ◆ 製品の設置は調節脚で正しく行ってください。調節脚は時計回りで高くなります。
- ◆ 製品の扉質量が重いため、製品を製品の前脚を5mm程度上げて設置してください。
- ◆ 調節脚が回しにくいときはガーゼなど柔らかい布で調節脚を包み、モンキーレンチなどを使って調整ください。
- ◆ 内容物の荷重や設置面の床強度や材質により、お使い後4-5日で扉が下がってくる場合があります。
- ◆ ワインフルボトル 750ml ボルドー・ブルゴーニュ 約1.4kg/本
瓶厚ボトル・スパークリング 約1.6kg/本 一升瓶 2.9kg/本

設置時の注意点

注意 【左右の水平について】

設置時に必ず水平器を使って左右の水平を確認してください。左右方向に傾いていると、扉の重さで本体が歪み、扉が本体に対して水平にならない可能性があります。

注意 【前後の調節について】

設置時には5mm程度やや前側の調節足を高くしてご使用ください。ガラス扉は大変重いため、前足側が低くなっていると、扉の開き圧力が増し、扉の密閉性に不具合の生じる可能性があります。

注意

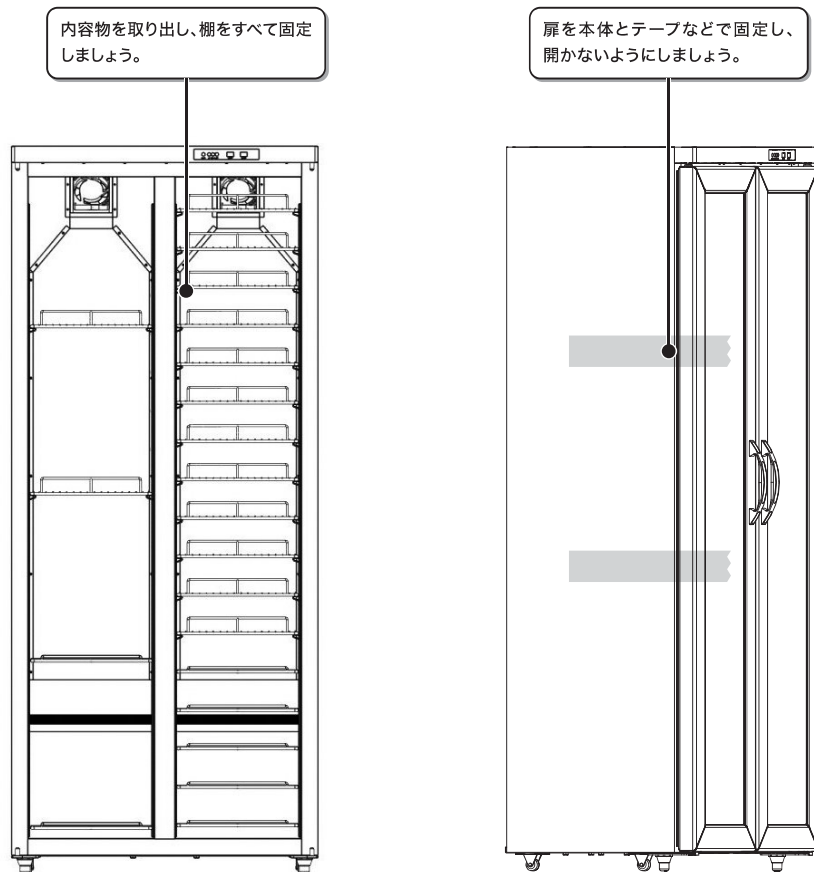
据え付け時に製品を引かずらないでください。床面を傷つける恐れがあります。

設置・据え付け方法 (移動・運搬)

移動・運搬するとき

- 必ず、2人以上で運搬し、横にしないでください。(故障、破損の原因)
 - 移動・運搬の際は、必ず安全上の注意を再度ご確認の上、記載内容を遵守してください。
- ① 電源プラグを抜き、10時間程度をおいてください。電源プラグを抜いてから霜が溶けるまでに、最大約10時間かかります。
 - ② 内容物をすべて取り出してください。
 - ③ 転倒防止ベルトを外してください。
 - ④ 棚をすべてテープなどで固定してください。(棚が当たることによりガラス破損などの原因)
 - ⑤ ガラス扉をテープなどで本体と固定してください。(運搬中に扉が開くことによる破損、ケガなどの原因)
 - ⑥ 庫内水受皿、排水皿の水をすべて抜いてください。(運搬中に排水がこぼれることによる故障、床の破損などの原因)
 - ⑦ 移動・運搬後は、30分以上してから通電させてください。

※この製品は50/60Hz(ヘルツ)共用です。周波数切り替えの必要はありません。

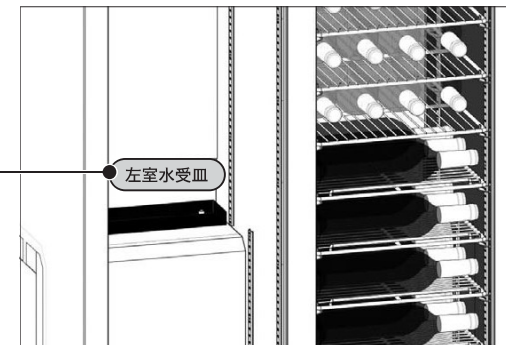


庫内水受皿／排水皿に溜まった水を抜く

*移動・運搬時に必要な作業です。通常の使用では特に必要ありません。

【庫内】左室

左室水受皿に溜まった水を拭き取りましょう。タオルや布などで水気を取ってください。

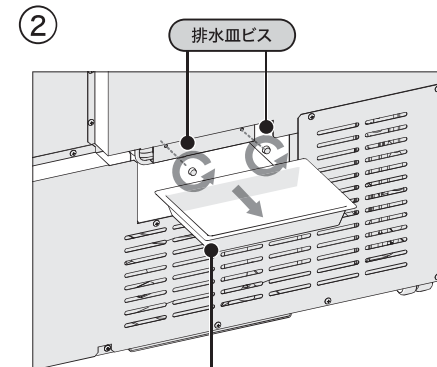
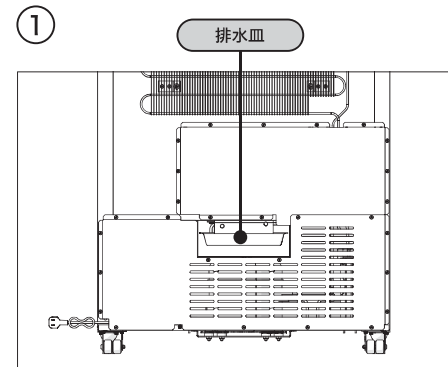


【庫外】背面

- 電源プラグを抜いてから10時間以上経過していますか？
- 安全のため、軍手などを着用の上実施してください。
- 水がこぼれることがありますので、床面に雑巾などを敷いてください。

*移動・運搬時に必要な作業です。
通常の使用では特に必要ありません。

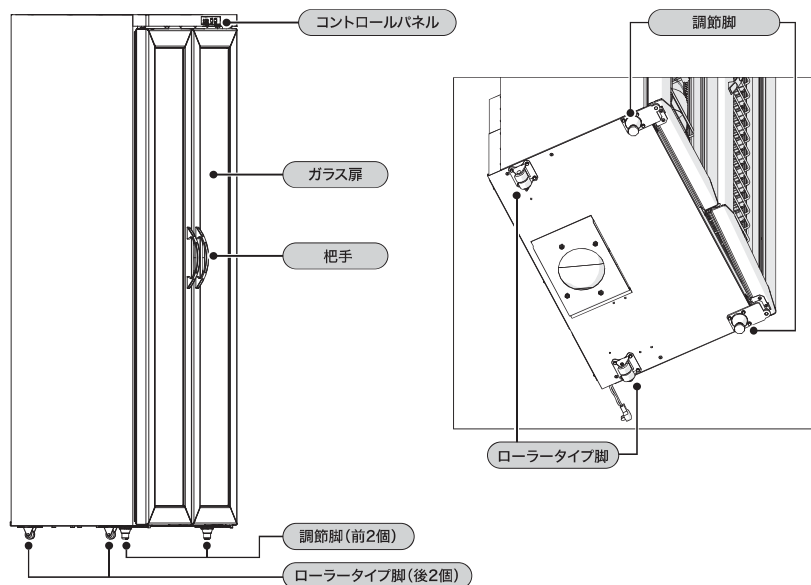
- ① 背面下部に排水皿があります。
- ② 排水皿を止めている金具のビスを取り外す。
- ③ 排水皿を手前側に引き出して、中の水を捨てる。



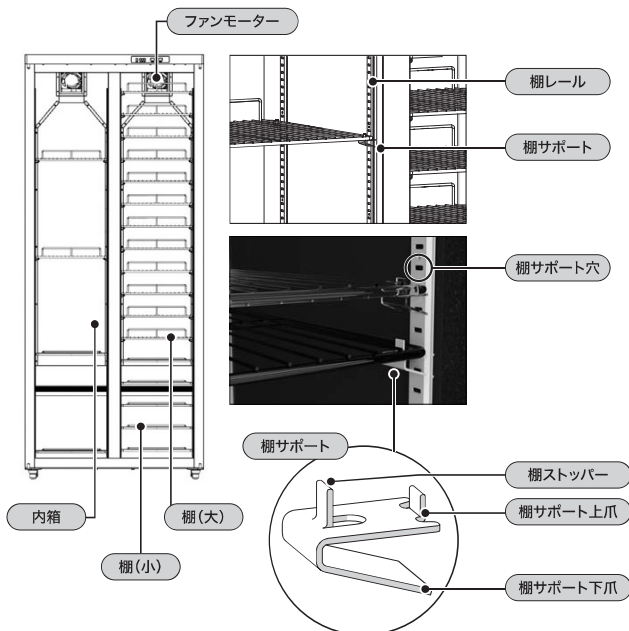
排水皿 ◆ プラスチック製の平たいお皿

各部の名称

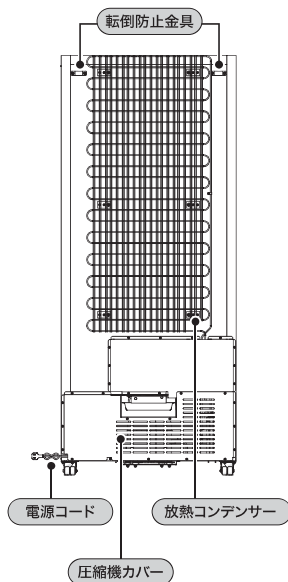
正面



庫内



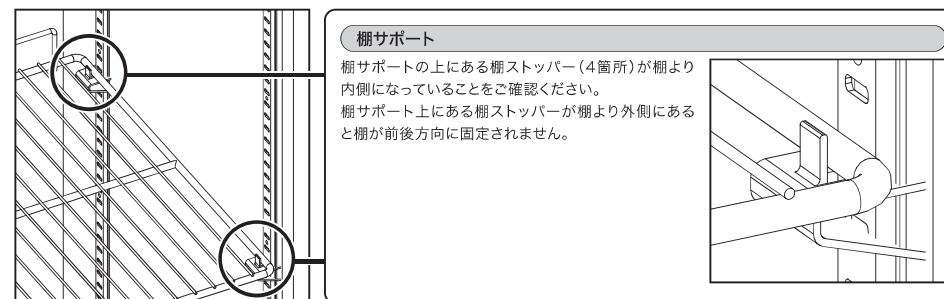
背面



使いかた

- 内容物を収納する前に必ず、棚が所定の位置に正しく取り付けられていることを確認ください。
- 輸送などで棚の位置が変わってしまうことがありますので、必ずお客様ご自身でご使用前に確認してください。

□ 棚は正しい位置に取り付けられていますか？



- 電源プラグを差し込むと自動的に通電と冷却運転が開始されます。
- 冷却運転が開始されると、表示部分に「現在」の庫内温度が表示されます。

警告

- ⊘ 棚は棚サポートの上に乗っています。棚サポートから上側に突起(棚ストッパー)が出ています。棚ストッパーが4箇所とも必ず棚の内側になっていることをご確認の上内容物を収納してください。正しく設置されていない場合は、棚が落下する要因となります。
- ⊘ 棚を斜めに設置しないでください。棚ストッパーは高さ10mmほどしかないので、斜めにした棚を支えることはできません。

保存温度参考表

内容物	保存温度	目的	保存メモ
赤ワイン・白ワイン・スパークリング	12~16℃	長期熟成	可能であれば、年間通じて4~6℃程度の微妙な温度変化をつけていただく液体に「動き」が生じて熟成が進みます。詳しくは当社ホームページを参照ください。
赤ワイン	14~18℃	短期保管	赤ワインを「飲み頃温度」で保管するには最適な温度帯です。適温で飲むことでよりワインの味が引き立てられます。
白ワイン	8~12℃	短期保管	白ワインを「飲み頃温度」で保管するには最適な温度帯です。適温で飲むことでよりワインの味が引き立てられます。
スパークリングワイン シャンパーニュ	5~7℃	短期保管	スパークリングワインを「飲み頃温度」で保管するには最適な温度帯です。適温で飲むことでよりワインの味が引き立てられます。
日本酒	-5℃	熟成	特定の日本酒の保管や熟成に適した温度帯です。
日本酒	-5~15℃	お好み	それぞれの銘柄やお好みにより、日本酒の冷やし方、飲み頃温度は多種多様です。
瓶・缶ビール	2℃~ 14℃以上	お好み	よく冷えたビールを味わうことも可能です。お好みに合わせて保管してください。※瓶・缶、ペットボトルは2℃未満に設定して保存しないでください。破裂などが生じる恐れがあります。
その他飲料	0~20℃	お好み	よく冷えたお水や飲料水を味わうことも可能です。お好みに合わせて保管してください。※瓶・缶、ペットボトルは2℃未満に設定して保存しないでください。破裂などが生じる恐れがあります。

内容物の飲み頃温度など適正温度については、商品や季節などによって異なります。詳しくは、各商品の販売元にお問い合わせください。

お勧めのワイン熟成方法 ◆ 本場のカーヴから得たワインの瓶熟について

それは長い歴史の中で「コルク」が使われ続けているところにヒントがあるのではないのでしょうか…

ワインの瓶熟のポイント

- ① 年間で4～6℃くらいの温度変化をつける。
- ② 一度保管したワインはできる限り動かさない。ボトルを触らない。

特に重要な温度変化。1か月から2か月に1回、温度設定を1℃か2℃ほど変えるだけです。ワインに意図的な変化をつけることで、ワインを「呼吸」させましょう。 ※「呼吸」が必要なのはワインです。セラーではありません!

ワインを熟成させて味わいたいなら、温度変化をつけてよりカーヴに近い環境で「ワインを育てる」ことをお勧めします。なぜなら、一定温度の保管では、「熟成が思うように進まないのではないか」と考えているからです。

その理由は3つ。

- ① 液体の体積は、温度変化に伴って増えたり減ったりします。一定温度であれば液体、つまり、ワインの体積に変化をもたらしません。夏に膨張してコルクにワインを含み、冬には収縮してコルクからフレッシュな空気を吸い込みます。このワインの「動き」がつまり「呼吸」です。酸化還元熟成をするワインに必要な「温度変化」。それがワインにとって、「呼吸」であると考えられています。
- ② ワイン呼吸のポイントは「コルク」。樽熟成と違い、瓶熟成はコルクからしか酸素を取り入れることができません。長い歴史の中、ワインを完全に密閉せずに、コルクが使用され続けているのは、やはりワインに「呼吸」が必要だからではないでしょうか。
- ③ フランスのブルゴーニュ地方など、歴史ある「カーヴ」は、機械による制御だけではなく、数百年来の歴史を受け継ぐ自然環境の中でワインを熟成させています。季節をめぐり、一年を通して緩やかに、微妙な温度変化を受けながらワインは「熟成」されます。平均的なカーヴの環境は、夏は14～18℃、冬は10℃～14℃、この緩やかな温度変化の中でワインは育てられています。

どのようなプロセスでワインの熟成が進み、香りやテイストなどが変化していくのかは解明されていません。しかし、先々の理由から、季節によって緩やかに温度変化することこそ、「瓶熟」が進む最大の要素ではないかと考えています。

温度表示、エラー表示の説明

温度	現在の温度を表示	表示温度は頻繁に切り替わります。設定温度と常時一致はしません。
----	----------	---------------------------------

故障ではありません

dF	霜取り運転中	設定温度、冷却運転状況、通電時間に応じて、一定時間ごとに冷却運転を停止し、霜取り動作を行います。なお、急速冷却運転直後は必ず霜取り運転を行います。
dr	ドア開放	ドアが開放になっています。ドアを開けてください。

※「dF」から現在温度表示に復帰した直後は、表示温度が設定温度より乖離することがありますが(最大で設定温度+6℃程度)、これは一時的なものであり、故障ではありません。

【エラー表示】故障の可能性があります ★エラー表示と同時に発せられる警報音は「LIGHT」を押すと停止します。

L4	庫内温度が25℃以上を2時間継続、もしくは-6℃以下を1時間継続した場合に表示されます。
E1、E2	庫内温度が設定温度+10℃以上の状態を2時間継続した場合に表示されます。
E3	庫内温度が-5℃以下の状態を2時間継続した場合に表示されます。
E4、E5	センサーに不具合が発生した場合に表示されます。
E6	加温ヒーターの不具合が発生した場合に表示されます。

温度設定を変える/ライトをつける(消す)

温度設定方法



温度設定のしかた

- ① セットボタンを押す。数秒間、[左室]の表示部が点滅します。セットボタンを2回押すと[右室]の表示部が点滅します。
- ② 表示部点滅時に「温度を上げる」、あるいは「温度を下げる」ボタンを押して、お好みの温度(-5~20℃)を表示させます。
- ③ 目的温度が表示され、しばらくすると点滅が終わりセット完了です。

温度設定完了後のご注意

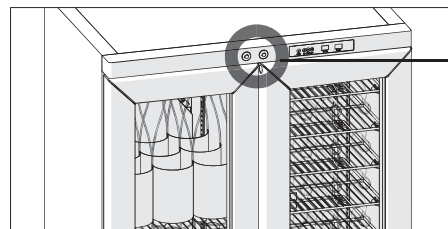
- 庫内温度のバラつきなどに関しては、『使い方のコツ』(21ページ)の「庫内温度を設定どおりにしたい」をご確認ください。
- ワインなどの内容物は、製品の庫内に目的温度に達したことを確認してから収納してください。
- 常温の液体などを一度に大量に収納すると、液体から発生する熱により冷却運転時間が長くなり、設定温度に至るまでの時間を要します。
- 一旦液体が冷えたら、使いはじめよりも少ない圧縮機の運転時間で冷却サイクル運転を続けられます。

ライトのつけかた

ライトボタンを押すたびに[右室ON]、[左室ON]、[両室OFF]の順で切り替わります。



ドアヒータースイッチ



ドアヒータースイッチ

ガラスに結露が生じた場合にのみ、ドアヒータースイッチをONにしてください。

使いかた

主なワインボトルの形状

- 一般的なワインボトル(ボルドー、太めのブルゴーニュ、スパークリングなど直径90mmまで)で計算しています。太いボトルを収納するときは棚の高さを調整ください。
- 棚は鉄製ワイヤーで作っているため完全な直線形状ではございません。棚にものを載せていない状態の場合、左右に「浮き」がある場合がございますが、棚にボトルなどモノを載せることで安定します。

ボトルサイズの目安

種類	幅(mm・およそ)	高さ(mm・およそ)	種類	幅(mm・およそ)	高さ(mm・およそ)
ボルドー	75	300	シャンパーニュ	89	320
DRC	86	300	マグナムボトル	100	330
ブルゴーニュ・ローヌ	82	300	ハーフ	62	240
太めのブルゴーニュ	89	300	黒霧島など(900ml)	82	290
アルザス・ドイツ	74	330	一升瓶	104	398

◆ ボトルの形



警告

⊘	● 上段部分に集中して保管しないでください。 荷重が上に掛かりすぎると転倒しやすくなります。
⊘	● 棚にものを載せたまま棚を引き出すことは絶対におやめください。 モノが落下して、破損、ケガなどのおそれがあります。
⊘	● 棚を引き出したままの状態、モノを収納することはしないでください。 モノが落下して、破損、ケガなどのおそれがあります。
!	● 扉を開けたまま使用しないでください。 水分過多になり、水漏れが発生する原因になります。
!	● 扉の開閉頻度は最小限でお使いください。 頻繁に圧縮機が動くことで、製品の耐久性や電気代に差が生じます。車内の温度も不安定になります。 扉開閉時の振動が最もワインに影響します。 ※圧縮機やファンの振動はワインに伝わらない設計です。
!	● ボトルのエチケツトなどは、ラップなどを巻いて保護してください。 使用環境や季節、設定温度によっては、ビンテージワインのコルクやラベルにカビが繁殖したり、ワインのボトルに結露が発生する場合があります。あらかじめ、ラップなどでラベルを保護してください。
!	● 棚がガラスに当たらないよう所定の位置にセットされていることを確認してください。 棚が前側に飛び出していると、ガラスに当たり、ガラス破損の原因となります。

注意喚起の内容	マーク	やってはいけないこと	起こりうるおそれ
ボトルの保管	!	瓶の上にさらに瓶やものを置かない。 瓶を2段以上に多段積にして、重ねて保管しない。 ※ボルドーボトルは除く。	● 冷却性能や冷えの低下。 ● 結露水発生による水漏れ。 ● ドアを開けた際に、水滴のついた滑りやすいワインボトルが足元に落下することで、破損、けがをする恐れがあります。
ボトルの縦置き	!	密閉されていないボトルの縦置き。	● 破損・ケガのおそれ

安全上の注意を確認しましたか? 据え付けに不備はないですか?

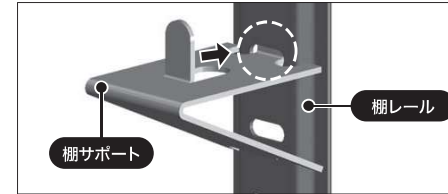
棚の位置(お好み)

各段お好みで棚の間隔を変更できます。

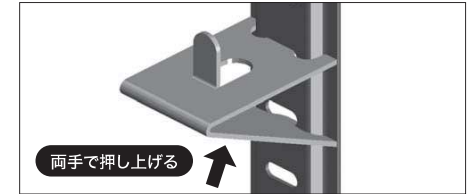
- 棚レールを固定するため、ボルトが打ってある箇所には棚サポートを固定できません。

棚サポートの取付け方

- 軍手などを着用し、必ず両手で行ってください。



- ① 棚サポート上爪を棚レールの穴に差し込む。

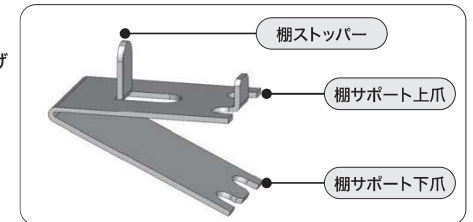


- ② 両手で、棚サポートの下側を上押し上げながら、棚サポート下爪を差し込む。

※棚サポートは、連続した2つの棚レールの穴に差し込んで使用します。

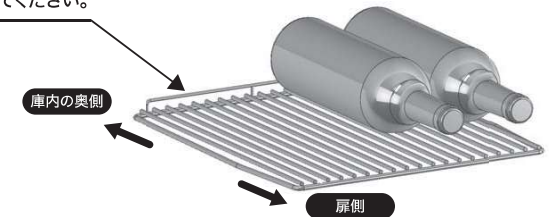
◆ 棚サポート

棚サポートを取り外す際は、棚サポート下側を上押し上げながら、棚サポート下側爪を引いてください。



棚の方向

ボトルストッパーが奥側になるように棚をセットしてください。



使いかた

各種瓶の保管方法

左室/日本酒一升瓶(1800ml) 右室/ワイン(750ml)



左

日本酒一升瓶
1800ml

収納本数
30本

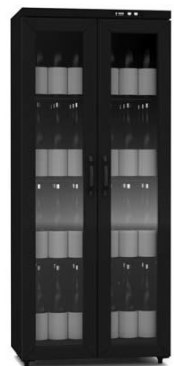


右

ワイン
750ml

収納本数
63本

全室/日本酒一升瓶(1800ml)



左

日本酒一升瓶
1800ml

収納本数
30本



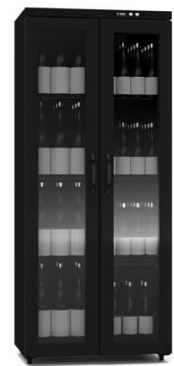
右

日本酒一升瓶
1800ml

収納本数
30本

収納本数
合計
60本

左室/日本酒一升瓶(1800ml) 右室/日本酒四合瓶(720ml)



左

日本酒一升瓶
1800ml

収納本数
30本



右

日本酒四合瓶
720ml

収納本数
52本

全室/ワイン(750ml)



左

ワイン
750ml

収納本数
63本

右

ワイン
750ml

収納本数
63本

全室/日本酒四合瓶(720ml)



左

日本酒四合瓶
720ml

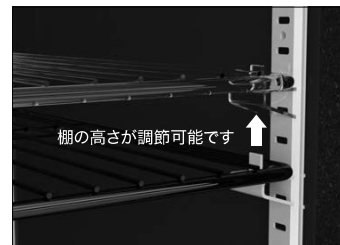
収納本数
52本

右

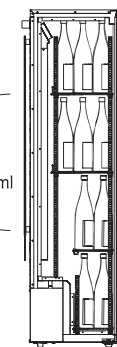
日本酒四合瓶
720ml

収納本数
52本

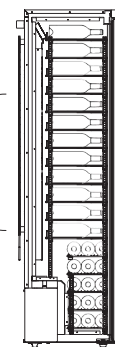
可変棚で、様々な形のボトル保管に対応



日本酒
一升瓶
1800ml



ワイン
750ml



お手入れについて

いつも清潔にお使いいただくために定期的なお手入れを心がけましょう。

警告

お手入れのとき	⊘	お手入れの際に、棚にものを置いたままで作業しない。
	!	掃除、点検の際は、必ず電源プラグを抜く。

お手入れのコツ

汚れたらすぐ掃除しましょう	庫内	● 庫内の汚れは冷気で固まる前に、また湿気でカビが発生する前に、さっと拭いてしまいましょう。特に、ワインなどの果汁成分は、内箱のプラスチックの変形や変色の原因になります。
	ガラス	● ガラス表面の指紋や汚れなどが落ちにくいときは、台所用の洗剤(中性)などを薄めて汚れを拭き、仕上げに水拭きと乾拭きをしてください。
	本体	● 天面、側面、背面、棚は、ホコリや汚れを取り除き、ぬるま湯で湿らせた柔らかい布で拭いたあと、乾拭きで仕上げてください。
	ドアパッキン	● ドアパッキンは汚れを取り除き、ぬるま湯で湿らせた柔らかい布で拭いたあと、乾拭きで仕上げてください。 (汚れていると痛みが早くなり、冷気漏れの原因になります。)
	コンセントなど	● ホコリが溜まると電気の無駄使いになります。コンセント、製品の周囲(背面、底面、側面)などの隙間に溜まったほこりを取り除きましょう。
年に1回は見えないところも	庫内	● 食用油などが付いたままだと、プラスチックが割れることがあります。庫内やラックなどにカビが発生する場合がありますので、年に1度は庫内や棚も乾拭きしてください。

お願い

⊘	● 湿らせた布は固く絞ってください。 水分が隙間にはいることによる電気部品の故障原因
⊘	● ガラス扉の表面、端面には衝撃を与えないでください。 ガラス破損の原因
⊘	● お手入れに次のものは使わないでください。 みがき粉 / 粉石けん / アルカリ性洗剤 / ベンジン / シンナー / アルコール / 石油 / 熱湯 / 酸 / たわし / 台所用洗剤(中性以外) / ガラス用洗剤 / 塩素系漂白剤

お手入れ後の安全点検

チェックポイント

- 安全上の注意を確認しましたか？
- 据え付けに不備はありませんか？
- 電源コードに亀裂や擦り傷がありませんか？
- プラグがコンセントにしっかり入っていますか？
- プラグに異常な発熱はありませんか？

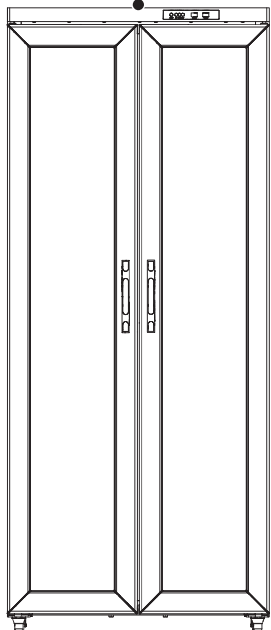
こんなときには

こんなときには	以下のようにご対応ください
停電のとき 冷えなくなり修理などを待っているとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 冷気を逃がさないため、ドアの扉の開閉をできる限り少なくしてください。 ● 新たな食品の保存は避けてください。 ● 保冷剤などをタオルなどの布で包んで入れてください。
長期間使わないとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 必ず電源プラグを抜いてください。 ● 庫内清掃後は、カビやにおいを防ぐため、2～3日間は扉を開けてください。 ● 庫内水受皿および、庫外排水皿の水を抜いてください。(10ページ参照)
廃棄処分・リサイクルするとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 扉パッキンをはずしてください。 ● 廃棄時には、販売店や市町村に引き渡してください。
電源プラグを抜いたとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 再び電源を入れるときは7分以上待ってから差し込んでください。 (すぐに差し込むと圧縮機に負荷がかかり、故障の原因となります。)
庫内灯が点灯しないとき	<ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げの販売店にご相談ください。
ガラスが割れたとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 全面をテープなどで固定し、ガラスが崩れ落ちないように応急処置をしていただき、販売店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。 その際、できる限りガラスには触れないでください。
移動、引っ越し、運搬するとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動時は、床を傷つけないよう、保護用の板、マットなどを敷いてください。 ● 9ページの「移動・運搬するとき」をご確認ください。

使いかたのコツ

庫内温度を設定どおりにしたい

- ① 設定したい温度表示にならない。
- ② 製品の表示温度と、お客様が準備された外部の温度計の表示温度に差がある場合。



これって冷却不良？

庫内温度差は内容物や収納方法によってはばらつきが出ることがあります。

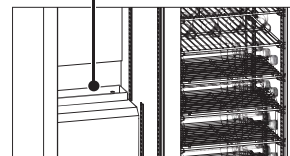
温度差がある場合、庫内を「からの状態」にして、5℃以下の設定温度で試運転(3～6時間程度)してみてください。庫内が「からの状態」で、設定温度どおりの温度表示となる場合は、正常な運転をしています。正常運転でもうまく設定温度とならない場合、以下のような要因が考えられます。

- 製品の表示温度と、庫内にお客様ご自身で準備された温度計の表示温度が、異なる場合があります。弊社では様々なタイプの温度計でテストし温度表示にバラつきが出ないよう独自の温度制御をしていますので、市販の温度計とは最大で4～5℃程度、表示温度に差がでることがあります。
- 次のような場合は、庫内表示(温調センサー温度)と外部温度計(お客様にて準備された温度計)の表示に差がでます。
 - ◆ お客様の準備された温度計が一般的に市販されている室内用温度計である。(温度センサのタイプや温度の表示プログラムが違うので表示温度に差が出やすい。)(室内用は、5℃以下の低温時には特に温度差が出やすい。)
 - ◆ 外気温が高い。(30℃以上ある。)
 - ◆ 十分な放熱スペースが確保されていない。
 - ◆ 棚を抜いて瓶や缶を積み上げて保管している。
 - ◆ 内容物が通気口を塞いでいる。
 - ◆ 扉を頻繁に(1日4～5回以上)開け閉めする。または、扉が開いていた。
 - ◆ 缶などを立てた状態で保管している。
 - ◆ 常温以上の温度を持つものを入れている。
 - ◆ 瓶・缶・ペットボトル以外の液体、または液体以外のものをいれている。
 - ◆ 設定温度が5℃未満。(5℃以下の低温の時は、外部温度計と表示温度に誤差が出やすい傾向があります)
 - ◆ 中にものを詰め込みすぎている。(液体の容量が多すぎる)
 - ◆ その他所定の使いかたに記載されていないご使用や保管方法をされている。

加湿したい

水を入れて加湿したい。

内箱奥にある水受皿(くぼみ)に水を注いでください。
(コップ半分 100ml以内)



できるだけ加湿したい

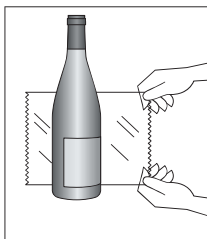
- 一年を通じて基本的には、加湿不要(特に3月から11月)ですが、状況や環境によって水を補うことが可能です。
- トレイやバットなどを注いだ水を棚に置くだけでは、自然蒸発となりほとんど加湿されません。水分を蒸発させて庫内の湿度を上げたいときは、風の流れのあるところに水を置いて、強制蒸発させることがポイントです。

※庫内の棚などに水を張ったトレイなどを置いても、蒸発時間に時間がかかりますので庫内の湿度はほとんど上昇しません。

湿度に関する当社の考え

当社ではワインに必要な「湿度」は1年を通じて平均湿度が60%以上もある日本において、あえてそれ以上の加湿をすることは不要と考えています。そこは日本の四季が持つ元々の特徴に委ねてみてはいかがでしょうか。むしろ、ワインの熟成には「温度変化」が重要と考えています。液体の体積は、温度変化により変わります。つまり、体積の変化とは、ワインによって「呼吸」することと信じており、その変化が熟成を促すと思っています。コルクの常時高温状態は、コルクの密閉性が増すため、外部の空気の侵入を防ぎ、ワイン特有の酸化還元熟成の妨げになると考えています。従いまして、わざわざお手をわずらせて湿度を補うことはお客様にはお勧めしておりません。当社製品にワインを保管していただく、ほとんどすべての場所で設定に近い湿度が得られます。そのあとは、年間通じて4～6℃程度の温度差をつけて保管していただければ、数年後、お客様のワインは素晴らしいものになっていると思います。

ワインのエチケツト(ラベル)を綺麗に保ちたい



カビや高湿度によりラベルの傷みから守ります。

- 製品の庫内は高湿度になっています。(平均60%以上)高い湿度の中では、コルク周辺やラベル、瓶などに付着しているカビ由来のカビ胞子が繁殖しやすくなります。また、水分でラベルが濡れてしまうこともありますので、あらかじめボトルを乾拭きし、ラップなどでラベルやコルク部分を巻いておくことで、カビの繁殖を抑えることができます。

よくある症状

温度表示・設定温度について

- 表示部には庫内温度センサーの「現在温度」が表示されます。
- 温度センサーは、庫内の奥側に取り付けられています。できる限り庫内温度を均一化するように設計していますが、内容物や設置環境、ドアの開閉頻度などによっては**庫内の温度差が3～5℃程度生じる場合がございます。**
詳しくは『使い方のコツ』21ページの「庫内温度を設定どおりにしたい」をご確認ください。
- 表示温度は、設定温度に対して±2℃程度で頻りに切り替わります。正確な現在温度を表記するため、表示部分を実温度にしているためです。不具合などではございませんので、ご安心してお使いください。
- 庫内の温度変化(空気の温度)とワインの温度変化(実際の液体)は短期的(数時間程度)には一致しません。
庫内の温度(空気の温度)大きく変わっても、ワインなど内容物の温度(液体の温度)はもっと緩やかな時間をかけて温度変化していきます。
庫内温度表示が±2℃くらいの間で頻りに切り替わっても、液体の温度変化には影響しませんのでご安心ください。
- 庫内温度は、上下、左右、前後のポイントにより常に変動します。
- 温度センサーの種類によって製品の表示温度と最大5℃程度の温度差が発生するため、市販の温度計を庫内に入れて温度を測る場合は、目安としてお考え下さい。
- 設定温度は低いほど頻りに表示が変わります。庫内の一次的な温度が変化があっても、内容物の液体の温度には、短時間では影響しませんのでご安心ください。
- 「dfr」から現在温度表示に復帰した直後は、表示温度が設定温度より乖離することがありますが(最大で設定温度+5℃程度)、これは一時的なものであり故障ではありません。

低外気温時の温度のふるまいについて

設定温度が外気より高い場合(真冬などの低外気温時)には、設定温度よりも低い温度が維持されやすくなります。たとえば、外気温が10℃を下回るような環境下で、設定を20℃とした場合、庫内の温度表示は15～17℃と表示されやすくなります。このような環境では、冷却運転をせず、加温ヒーターを用いて温度を上昇させますが、冷却制御との関係で、加温ヒーターが作動する温度は、設定温度-4℃から-5℃のときになるためです。真冬の外気温は、マンションだと14～16℃、戸建て住宅だと8～10℃くらいといわれます。20℃前後の保管をお望みの際には、室内をある程度暖かくしておく必要があります。

湿度について

冷却運転中(圧縮機が「ブーン」と動いており、且つ側面や背面が熱いとき)に、湿度は一時的に低くなります。(これはコンプレッサー式の製品の特長ですが、庫内の湿度環境、ワインの保存環境には影響しませんのでご安心ください。)

- 湿度は、年間通じて平均的に60%以上に保つように設計していますが、外気の湿度に依存しやすいため乾燥時期には庫内湿度も低くなります。特に冬場は(11月～3月)湿度が上がりにくくなります。
- 湿度の値は相対的なものですので、温度によって同一の水分量でも表記数字が変わります。つまり、同じ水分量でも、気温が低い場合には、湿度が高く表記されます。ワインにとっては、十分な水分量でも、温度と相対的な湿度の数字は低く表示されることがあります。一時的な低湿度状態でも、それが数日から数か月程度の短期的なものであれば、ワインに影響することはありません。また、ワインのボトルを寝かせている場合は、ワインによりコルクの乾燥を防げますので、ワインの保管状態に影響はないと当社では考えています。
- 設置環境や温度によっては庫内湿度が90%を超える場合があります。ボトルに結露が生じやすくなりますので、ワインなどのラベルを保護するため「ラップ」などを巻いて保管する(『使い方のコツ』21ページ参照)ことをお勧めしています。
- 常時高湿度状態をお求めになるお客様は、『使い方のコツ』22ページの「加湿したい」を参照ください。

作動音について

圧縮機の作動音	「カチ」「ボン」「ピン」という音と共に、「ブーン」「ゴー」というような音で圧縮機(コンプレッサー)が作動します。これは冷却運転中の作動音です。停止時にも「カチ」「ボン」といった音が鳴ったあと、停止します。この音の出处は、製品の背面下側のカバー内に格納された圧縮機によるものです。圧縮機作動中は、製品の側面や間口、天面は庫内の熱を外に放出するため熱くなりますので、ご注意ください。熱くなること自体は正常な冷却運転によるものですのでご安心ください。
ファンモータの回転音	庫内に搭載されている空気循環用ファンは常時作動しています。圧縮機とは異なり、やや甲高い音です。扉を閉めてお使いいただいている場合は、常に聞こえてきます。これは、庫内にある部品から発生するもので、 扉を開けると止まります。 扉を閉めている場合には、駆動音が聞こえてきます。(設置環境によっては聞こえない場合もあります。)
冷媒が流れる音	冷媒配管の中には「冷媒ガス」が流れています。常に気体、液体へと変化し配管内を流れています。流れる場所によって、「ゴー」、「シャー」、「コボコボ」、「ピチャピチャ」といった冷媒の流れる音が聞こえる場合があります。

圧縮機の冷却運転時間が長くなり、環境によって音が大きく聞こえることがあります。

- 使いはじめのとき。(内容物と外気温などによって、2～3日冷却に時間を要することがあります。)
- 外気温が高いとき。
- 設定温度が低いとき。
- 扉の開閉頻度が多いとき。
- 大きな冷却能力を必要とする場合。
- 内容物の温度が高いとき
- 沢山のものを入れたとき

水漏れについて

【水が漏れてきた際】 以下をご確認ください。

- 設置・据え付けに不備はありませんか？
 - 前脚を5mmほど上げてご使用いただいていますか？ 【設置据え付け方法 8ページを確認ください。】
 - 直近ドア開放アラームが鳴っていたことはありませんか？ 【ドアは数分以上継続して開くと警報音でお知らせします。】
 - 庫内の水受皿に水が溜まっていませんか？ 【溜まっていた場合は、雑巾などで水をふき取ってください。】
- 上記をすべて確認の上、2～3日様子を見てください。

【庫内側・背面側からの水漏れの原因】

- 外気の取り込みすぎによる冷却器の霜付き
- 外部環境(気温と湿度が高いこと。6～9月頃)
- 設定温度(低い温度であればあるほど、冷却時間が長くなり外気の水分を大量に使うため)
- ドアの開放時間が長い、頻繁な開閉(ドアを開けたまま冷却運転をすると多量に外気を取り込んでしまうため)
- 製品の傾き(前傾になっている場合)

ドア・本体の結露について

ガラスドアは、右記の仕様を満たすガラス性能になっています。お使いの環境が、右記環境を超える水分量を含んでいる場合、ガラスの表面に結露が発生することがあります。季節や使用環境などで、外気に含まれる水分量が一時的に非常に多くなる場合、ガラスの表面には結露が発生しやすくなります。例えば、外気温32℃ 湿度75%のとき、空気中の水分量は約25g/m³にも達しますので、そういった環境で使用する際には特に注意が必要です。

設定-5℃未満 / 外気温30℃ 外気湿度70%
空気中の水分量 約21g/m³

結露水が床にこぼれることがありますので、対処方法としては、以下の対処方法を推奨しています。

- ① 設定温度を上げる
- ② ドアの下部分に雑巾など水受用の敷物をする
- ③ 扉サッシ用などの結露水防止テープで一時的な結露水の防止処置をする
- ④ 扇風機の風を当てるなどしてセラー周辺の風通しを良くする

よくある症状

なおについて

なおの原因は、内箱に使っている樹脂などのプラスチック臭によるものです。軽減する対応策がありますので、お試しください。なおが内容物に移るような心配はありません。

- ① 薬局で市販されているエタノール(アルコール)を50%程度に薄めて、庫内全体や棚を拭く。
- ② 庫内を拭いた後、風通しの良い場所で扉を開けたまま換気する。
- ③ 通電するとにおいが軽減されるので、しばらく通電し続け、気になるようなら空の状態です数日間通電する。
- ④ 冷蔵庫用の脱臭炭を設置する。あるいは販売店には独自に冷蔵庫用の木炭や竹炭を準備しているケースがあるので、販売店様にご相談する。

※市販の木炭や竹炭を置いておくだけでも脱臭効果があります。

カビや菌の発生について

製品の内箱や庫内などにカビや菌が繁殖することがあります。製品は、ワインの熟成のためにもつくられていますので、庫内の湿度は一般的な冷蔵庫などに比較すると、最大40～60%も高い高湿度状態が維持できるようになっています。製品の最も特長な性能の一つですので、製品の制御などでカビを抑えることはできません。カビの繁殖を止めたいときは、『使いかたのコツ』21ページの「ワインのエチケツ(ラベル)を綺麗に保ちたい」をご参照ください。

カビの繁殖は、高湿度状態が保たれていれば起こることが多い自然な現象です。特に古いビンテージで、過去に高湿度で保管された状態の良いワインであれば、カビの胞子がエチケツ(ラベル)、瓶、コルク周辺などに付着していることが多いものです。そういったワインをラップなどでエチケツを包まずに保管すると、庫内にカビが繁殖することがあります。また、日本酒も発酵させて作られるお酒ですので、瓶周辺にこぼれた液で、庫内に菌を繁殖させることがあります。

カビや菌は悪くて不潔なイメージがありますが、ワインのラベルから発生するカビは、一概にそうとは言えないことがあります。フランスなどの有名なカーヴやドメーヌでは、高湿度状態(ワインにとって最適な環境)であることを証明するために、その歴史の分だけ数十年から百年以上もカビを積み上げているところもあるそうです。

一次的なカビの繁殖は、製品の庫内がワインにとっては最適な環境であるという裏付けでもあります。もし、これらが発生したら、乾いた布で乾拭きするなどして、さっと掃除してください。一度発生カビなどが発生すると、その後カビが生じやすくなりますので、一度庫内から内容物をすべて取り出し、お手入れの方法(21ページ)をご確認の上、庫内を清掃してください。(カビの胞子が庫内の各所に飛散していることがあります。)

本体の熱について

製品の側面、天面には放熱用のパイプが内蔵されているため、冷却運転中は熱くなります。特に側面は全体的にパイプが通っておりますので、温度が高くなります。

使いはじめ、庫内の内容物、設置環境などによって、冷却運転時間が異なります。冷却に要する運転時間に応じて温度が高くなる傾向がありますが、製品の冷却運転上必ず起こることですので、安心してご使用ください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらお問合せの前に、以下の点をご確認ください。また設置環境によっては、故障していても電波干渉や電源電圧の一時的な増減などの外的要因により、一時的な動作不良が生じる場合があります。一度コンセントを抜いて、5分ほど置いてから再度通電していただき、症状が変わらないことを確認してください。

下記をご確認いただき、それでも具合が悪い場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店または、当社サポートセンターまでご連絡ください。

症状	確認事項	原因・解決方法	
まったく冷えない	電源は供給されていますか? ご家庭用の電源ヒューズやブレーカーに問題はありますか? 停電ではありませんか?	同じ電源で他の電化製品が動作するか確認してください。	
	コンプレッサーは運転していますか?	冷却運転時にはコンプレッサーが作動し、ブーンという運転音がします。電源を入れてなおして、コンプレッサーが始動するか確認してください。音については、よくある症状(24ページ)の作動音の項目をご参照ください。	
	表示部分にEE、HH、E1などのエラー表示が出ている。	当社サポートセンターまでご連絡ください。	
冷え	一度、内容物を冷蔵庫などに移動し、庫内を「からの状態」にしてから、温度を5℃以下に設定し試運転する。	表示温度が設定温度通りを表示すれば、異常はありませんので、使いかたのコツ21ページ「庫内温度を設定どおりにしたい」をご確認ください。	
	設置直後ではありませんか?	周囲環境や設定温度によっては、冷えるまでに24時間～48時間以上かかる場合があります。	
	設定温度は何℃ですか?	設定温度が低い場合は、外部環境によって通常より多分に時間がかかる場合があります。	
	設定温度と市販の温度計とに誤差がある。	温調センサの種類によって製品の表示温度と最大5℃程度のかい離が発生するため、市販の温度計を庫内に入れて温度を測る場合は、目安としてお考え下さい。詳しくは、よくある症状(23ページ)の「温度表示・設定温度について」の項目をご参照ください。	
	扉が半開きになっていませんか? 内容物が引っかかっていませんか?	扉がきちんと閉まっていることを確認してください。製品の手前側を高くして設置することで、扉の密着度が増します。	
	内容物をつめすぎではありませんか?	隙間なく収納すると、冷気が循環せず冷えが悪くなります。	
	新しい内容物を収納して十分な時間が経っていますか?	周囲環境や設定温度によっては、冷えるまでに24時間以上かかる場合があります。	
	周囲温度は適正ですか?	本製品は、5～30℃で使用できます。外気温が高い場合には、冷えが悪くなります。	
	熱気のそばや、直射日光が当たっていませんか?	ストープなど熱気に近い場所、直射日光が当たると冷えが悪くなります。	
	放熱スペースは十分に確保されていますか?	放熱スペースは設置据え付け方法(7ページ)を確認ください。	
設定温度	表示温度が頻繁に変化する	設定温度と表示温度の差は何℃ですか? 庫内の開閉をできる限り減らしてください。設定温度±2℃程度を目安に表示が頻繁に切り替わりますが、これはコンプレッサーの運転による実温を表示している通常の反応です。	
	温度設定ができない	温度表示部分に「dF」,「dr」などが表示される。	温度表示については、13ページで説明していますので、ご参照ください。
		正しい温度設定の方法を確認しましたか?	使いかた(14ページ)を参照の上、正しい設定方法をお試しください。コントロールパネルのタッチ部分は、角度や位置によっては正常に反応しない場合がありますので、必ず両手の指の腹でしっかり押してください。

故障かな?と思ったら

症状	確認事項	原因・解決方法
水・結露	扉が半開きになっていませんか? 内容物の入れ替えなどで、長時間(3分以上)扉を開けて放置にしたことはありませんか?	庫内の密閉性が悪く、外気が大量に流入する、あるいは、運転を継続した状態で、長時間(3分以上)扉を開放するなど繰り返すと、庫内に水分が多量に発生します。その結果、排水皿や庫内の水受部分以上の容量の水が作られ、庫外にこぼれ出てしまうことがあります。詳しくは、24ページのよくある症状の「水漏れについて」を確認の上、扉の閉まりを確認した上で様子を見てください。
	製品の手前側(扉側)が低くなっていませんか?	製品の手前側が低いと、庫内で発生した結露水が庫内より漏れ出す場合があります。設置状況を確認してください。詳しくは8ページの設置据え付け方法をご確認いただき、必ず前脚を5mm程度高くしてお使いください。
	本体の外側に結露がする。	よくある症状(24ページ)の「ドアの結露について」をご確認ください。梅雨時期などは外側に結露することがありますので、乾いた布で露をふき取ってください。
音	製品から「ピー」という音が鳴っている。	扉が開いていますので、扉を閉めてください。製品のエラー表示が出ていたら、当社サポートセンターまでご連絡ください。
	設置据え付け方法の通り設置していますか? 設置据え付け方法のページに設置担当者のサインはありますか? 据え付けが悪く本体がガタついていませんか? 本体側面などが壁に触れていませんか? 製品の周囲に容器などが落ちていませんか?	床が安定していない、水平が取れていない場合は、設置据え付け方法を確認の上、製品を正しい位置に据え付けてください。
	背面の下のほうから、「カチ」「ボン」「ピン」「ギュルル」などという音と共に、「ブーン」「ゴー」「ブー」「キーン」など。	冷却運転中の作動音です。停止時にも「カチ」「ボン」のような音が鳴ったあと、停止します。この音の出処は製品の背面下側のカバー内に格納された圧縮機によるもので、異常ではありません。
	背面部、または庫内から、「ブー」「ゴー」「ブーン」「ピー」「ギュルル」など。(扉を開けると動作音が止まる場合)	ファンモーターの動作音です。扉を開けると止まることが特徴です。
	「ピチャピチャ」と水の滴るような音がする。	冷媒が流れる音や庫内で発生した結露水が落ちる音です。
	ドア付近の「ブー」「ゴリ」という音。	ドアパッキングが間口にこすれる音です。(市販のグリースなどで緩和できます。詳しくは販売店にお問い合わせください)
	作動音が鳴り続ける。	設置環境や内容物によっては圧縮機が冷却のために運転し続けます。
熱	側面や天板、背面など。	圧縮機作動中は、製品の側面、背面、間口、天面は庫内の熱を外に放出するため熱くなりますので、ご注意ください。熱くなること自体は正常な冷却運転によるものですのでご安心ください。
におい	庫内にカビが繁殖する	ワインの保存のために高湿度状態を維持する設計となっております。高湿度状態では、ビンテージワインなどに付着していたカビの胞子が繁殖する場合がありますが、故障ではありません。25ページのカビや菌の発生についてを参考にお手入れしてください。
	においがする	においの原因は、内箱に使っているABS樹脂、あるいは棚に使用している木部に防腐用溶剤を塗布しているためです。軽減する対応策がありますので、下記をご確認ください。 ①エタノール(アルコール)を50%程度に薄めて、庫内全体や棚を拭く。 ②庫内を拭いた後、風通しの良い場所で扉を開けたまま換気する。 ③通電するとにおいが軽減されるので、しばらく通電し続け、気になるようなら空の状態の数日間通電する。 ④冷蔵庫用の脱臭炭などの消臭剤を設置する。
パッキングに隙間がある	新しいパッキングを送付いたしますので、同梱されているマニュアルにしたがって取り替えを行ってください。弊社サポートによるお取替えは有償となります。	

保証規定・アフターサービスについて

保証規定

保証書はこの取扱説明書の裏用紙に記載されています。

保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。お読みになられたあとは、大切に保管してください。製品に関する保証は、本保証規定に基づいて実施することをお約束します。

本書に記載されていないこと、本書の内容に即さない、お客様のご判断、ご都合によるご要望には対応できませんので、予めご了承の上、製品をご使用ください。

警告

機械の改造は危険ですので、絶対にしないでください。

改造した場合、取扱説明書に述べられている正しい使用方法と異なる場合、使用上の誤り、製品保証書の紛失などは、メーカー保証の対象外となりますので、ご注意ください。

!	保証書(販売店発行の保証書も含みます)は、必ずお買い上げの年月日と販売店印など、所定事項の記入が必要で、所定事項の記入がない場合、お買い上げの販売店から発行される保証書をお受け取り下さい。
!	万が一、製品の不具合が発生した際、修理訪問時に不具合が確認できない場合は、原因を特定できませんので、適切な処置を講じることができません。そのため、一切の修理をすることはできません。その場合は、保証期間中であってもアフターサービス技術者を派遣するなどの出張料、また修理時に必要な見積書作成料金を申し受けいたします。ご了承いただけない場合は、修理、点検などのご依頼についてはご依頼主都合によるキャンセルとさせていただきます。
!	製品は、1点1点手作りで組み立てている工程がありますので、厳密には個体差が出る部分があります。製品の品質は自社および、国内の工場規格などにに基づき厳密に全数個体管理、記録していますが、ご使用に影響しない軽微なムラ、傷などは製品保証の対象外となります。返品や交換は受付できませんので、予めご了承ください。
!	万が一、冷却に関する不具合があった場合に備えて、保冷剤などを棚1段あたり350~500g程度準備されることをお勧めします。停電時など冷却動作ができない場合にも役立ちます。詳細は、こんなときには(20ページ)をご確認ください。
!	製品は必ず配送設置業者により2名以上で対応してください。1名以下で対応したり、お客様ご自身で設置された場合は、製品に不具合が起きたり、ケガや破損の原因となります。
!	保証期間の開始日は納品日となります。開梱設置は同日となります。販売店やお客様のご希望で納品数日後に開梱設置される場合、その後外観上の瑕疵などが露見されても保証の対象とならない場合がありますので、ご注意ください。
!	製品の配送設置後に告知されるあらゆる傷、打痕、汚れ、ガツツキなど本体表面上にある、納品時に発見可能な目視できる瑕疵(不具合)は、配送設置完了後(配送業者に対して配送完了印を押し印した後)は全て保証対象外となります。外観上の不具合を発見された場合は、設置業者に必ず報告し、受領書にサインをせずに製品の持ち帰りを申告してください。お客様ご自身の判断でご使用された場合は、交換などに応じることができない場合があります。

保証規定・アフターサービスについて

修理・サポートセンターについて

◆ 修理対応について

出張修理は、一部の遠隔地や訪問不可能な場所を除き、当社へご依頼をいただいた日から起算して平均的に3～7営業日程度で、製品の設置場所へ訪問した上で、当社より適切な技術指導を受けた委託業者、または当社にて実施いたします。可能な範囲でお客様のご都合に沿う日程の調整後、訪問、修理させていただきますが、ご希望の曜日や時間、修理箇所や部品の手配、訪問場所、修理までに必要な情報の不足、その他お客様によるご事情等で、ご希望の日時に訪問できない場合がございますので、ご了承くださいませと幸いです。

◆ コールセンターについて

お電話による当社サポートセンターの受付時間は、サポートセンターのご案内(33ページ)に記載しています。当社営業時間にお問い合わせができない場合は、別途サポートメール(support@sakura-wks.com)を準備しています。

修理料金

◆ 下記内訳で構成されています。

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金
- 部品代：修理に使用した部品代
- 出張料：製品のある場所へ技術者は派遣する場合の料金

※保証期間中であっても、出張料金は離島および、離島に準ずる遠隔地などへの出張の際には実費を申し受けます。

※詳細につきましては、当社サポートセンターまでご連絡ください。

修理作業

修正作業は、お客様にご承諾を得たうえで、実行いたします。

修理につきましては、承諾いただいた料金を事前に申し受けしたうえで、実施いたしますので、予めご了承ください。

修理時のお願い

出張修理時には、作業スペースの確保をお願いいたします。

本製品を建物作り付けの内装設備に組み込んでご使用されている場合は、製品の取り出しと再取付は、お客様ご自身でご手配をお願いいたします。その際に掛かる設置費用などにつきましては、補償できませんので予めご了承ください。また、製品から内容物の取り出し、再収納につきましてはお客様にてお願いいたします。

保証(補償)対象外となるもの・症状について

以下に該当する不具合は、保証の対象外となります。万が一、開梱・設置時に不具合が発見された場合は、配送設置業者に申告し、販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。

- 不具合、天災地変などによる納品日の遅延、時間指定などは保証の対象外となります。
- 配送に関わる規定は、配送業者の規定、あるいは販売店の規定に準拠いたします。
- 指定納品日が必要になる際は、別途当社または、販売店などに予めご相談上、専用チャーター便などをご手配ください。

◆ 保証の対象外となること、部品、症状

● 納品指定日、ご使用日 ● 本体表面の傷、打痕、汚れ、割れなどの本体表面上にある納品時に発見可能な目視できる瑕疵 ● 通常の仕様範囲内の庫内温度差や湿度、または湿度など ● プラスチック臭・ウレタン臭などの製品の性質上のおい ● 動作音、起動音、冷媒流音などの製品の機能上の動作音 ● ガラス表面・本体表面(外側の結露) ● 水漏れ(製品の製造上のもは除外) ● 中仕切板 ● 漏電保護タップ ● 蒸発皿(水受皿) ● ヒンジ、ヒンジキャップ、ヒンジカバー ● その他収納棚に関わる部品(ある場合) ● その他保証対象に記載されていない部品 ● 製品内に保管されている内容物

◆ 設置完了後に保証対象外となるもの

● 扉下がり ● 本体の歪み、ガタツキ ● 本体の軽微な使用上に影響しないガタツキ、ずれ ● バッキンと本体に隙間がある場合

内容物・製品以外の補償



製品に保管する内容物の損傷・劣化は一切補償できません。また、製品からの水漏れなどによる床・絨毯の汚れなども保証対象外となります。床などの保護ため、必ず本書に記載している内容を遵守してご使用ください。

保証期間中の修理

保証書をお手元にご用意いただき、お買い上げ年月日、品番などを確認ください。保証規定と内容に基づき、修理させていただきます。

保証期間外、保証対象外の修理

お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。詳しくは、お買い上げの販売店、または当社サポートセンターまでご連絡ください。

保証期間と保証箇所

◆ 納品日より6か月のもの

ガラス・扉バッキン・鍵・棚・LEDライト (*ガラス破損は一度のみ)

◆ 納品日より1か年のもの

ファンモーター、制御基板、操作基板、温調センサ、加温ヒーター、起動リレー、保護器、ガラス内部の結露などの通常使用、および、本取扱説明書内容を準拠して使用している場合の不具合。

◆ 納品日より5か年のもの

冷媒ガス漏れ、冷媒ガスつまり、圧縮機、毛細管、凝縮器、冷却器など圧縮機および、冷媒が通る配管部品などの通常使用、および、本取扱説明書内容を準拠して使用している場合の不具合。

製品交換で対応する場合

製品の交換は、本取扱説明書および、保証書に基づいて**当社判断**により、修理に代えて行われる場合がございます。

当社判断とは、当社による修理実施後に、お客様ご自宅などで修理不可能な不具合であると確認できた場合を指します。具体的には、次のような場合です。

- 冷媒循環回路の不具合により、正常に冷却できず、修理不可能と当社が判断した場合。
- その他の事情で修理不可能と判断した場合。(本取扱説明書に基づき、当社の判断により実施します。)
- 製品を交換する場合は、使用年数や、使用状況などに応じて、同等品と交換する場合がございます。あらかじめご了承ください。

保証対応・サービスができない場合

次のような場合、公平性の欠如、あるいは、法律的、倫理的、道德的、その他の事情などにより、以後の保証サービス、その他すべての対応ができなくなる場合があります。

- 本書をお読みになられない場合
- 本書の内容に記載されていないことをご要望される場合
- 本書の内容や規定に反することをご要望される場合
- お客様のご要望が通常のサービス・業務に差し支えると当社が判断した場合
- 誹謗中傷などに該当すると判断される場合

補修用性能部品の保有期間

製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

製品特性と設置環境について

なお、使用部品の経年劣化や不具合は、次のような環境での使用の場合、通常より短時間で発生する場合があります。

- 換気が悪く、周囲温度が高くなりやすい室内での使用。
- 直射日光が当たる場所での使用。
- 生活環境温度外での使用。(30℃以上の環境での使用)
- 塩害を受けやすい場所での使用。
- 硫酸酸化物の影響を受けやすい場所での使用。
- 電源電圧変動の大きい場所や環境での使用。(その他家電用品とのタコ足配線は、電圧変動が大きくなり不具合の原因となることがあります。)

仕様一覧

型 式 名	SJ8
ボ デ ィ カ ラ ー	ブラック
扉 タ イ プ	真空ガラス搭載ドア
扉 開 き	両開き
収 納 本 数	ワイン／126本(左室 63本 + 右室 63本) 一升瓶(縦置き)／60本(左室 30本 + 右室 30本) 四合瓶(縦置き)／104本(左室 52本 + 右室 52本)
棚	鋼鉄製ワイヤー棚
外 形 寸 法 (m m)	幅 796 × 奥行 585 × 高さ 1,910(取っ手含まず)
設 置 寸 法 (m m)	幅 856 × 奥行 635 × 高さ 2,010
定 格 内 容 積	334 L (167L×2 部屋)
庫 内 灯	LED(2W×2 電球色)
電 動 機 の 定 格 消 費 電 力	360/360 W(ヒーター、LED 運転off時)
電 熱 装 置 の 定 格 消 費 電 力	180/180 W
設 定 温 度	左室／-5℃~20℃ (1℃ピッチ) 右室／-5℃~20℃ (1℃ピッチ)
製 品 質 量	150 kg

◆この製品は、日本国内用に設計されています。日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY

◆より快適にお使いいただけるよう、製品改良に随時努めております。そのため、予告なく一部仕様や部品の種類、メーカーが変わる場合がありますので、何卒ご了承ください。

警 告

- 分解・修理・改造は絶対に行わないでください。発火、異常動作によりケガの原因となります。
- 霜取りを素早く行おうとして、電熱器などの機械的または人工的な装置をお使いになるのは絶対におやめください。
- 除霜スプレーをご使用にならないでください。身体に有害、またはプラスチックを傷める物質が含まれている場合があります。

注 意 事 項

- 本製品はオープン価格です。価格については、販売店または弊社までお問合せください。
- 本製品は、改良などの理由により仕様・デザインなどを予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
- 販売価格には、配送費、設備工事費、使用済み製品の引き取り費用、およびワインなどは含まれていません。
- 掲載製品の色については、印刷物のため多少実際の色と異なる場合があります。
- 機能面を損なう恐れがあります。無理な収納はおやめください。
- 製品の補修用性能部品(冷媒を含む)の保有期間は製造打ち切り後9年です。
- 表示されている収納本数は、標準的なボルドータイプでのボトル換算です。
- 電源は、単相100V 50/60Hz
- 換気の悪い場所、畳、じゅうたんなどの床面が不安定な場所、直射日光の当たる場所への設置は避けてください。
- 設置の際は、本体が必ず水平になるように設置してください。
- 製品を廃棄する場合は、家電リサイクル法に基づき、収集・運搬料金、再商品化料金(リサイクル料金)が必要となります。
- 年に1~2回程度、庫内、棚などを清掃してください。
- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
- 製品の保証につきましては、取扱説明書および、保証書をご覧ください。
- ワインなど内容物、および、絨毯、床など製品以外のもの、時間などの保証は一切いたしません。

